

藤井しんすけ 議会ニュース 議会録

平成 23 年 防災警察常任委員会 (2)

平成 23 年 7 月 8 日

藤井

今日質問させていただきたいのは、私の実体験に関するお話でございまして、たまたま私の自宅近くに高速道路の乗り口があるんですが、E T Cと一般と両方とも通過できる料金所のレーンがあって、渋滞が起きていました。先頭はどんな車かなと思ったら、パトカーだったんです。高速の料金所で警察車両は紙でのやりとりをしまして、これはE T Cは積んでいないなということのを思いました。この御時世にどうしてE T Cを取り入れていないのかなという素朴な疑問を持ちました。まずはじめに警察全体で、こういう車両が何台ぐらいあるのか教えていただけますか。

装備課長

フォークリフトと特殊車両を除きます四輪車ですが、2,370 台余の車両が活動しております。

藤井

2,370 台余あるということで、そのうち、私はたまたま見たのかも分かりませんが、E T Cを登載していない車両というのはどのぐらいあるんですか。

装備課長

E T Cを登載していない車両は1,900 台余で、約8割の車は登載しておりません。

藤井

8割が登載していないということで、搭載している車の方が珍しいわけですが、どういった車種に限ってやっておられるのか教えてください。

装備課長

E T Cを登載している車両は、正確に言うと467 台、約20%ですが、登載している車両は、犯罪や交通の捜査、警衛ですとか警護等や追尾等でどうしても仕事の都合上速やかな料金所通過が必要な業務に従事する車両でございまして。

藤井

何かあったときにはやはり必要な車両だし、余りにも少ない台数だというふうに認識しております。80%の車両が積んでいないわけですが、全体的にE T Cを登載すると、どのぐらいの費用がかかるんですか。

装備課長

E T Cを登載するには、1 台当たり約1 万7,000 円かかります。機器本体とセットアップの費用で、1,900 台余に登載する場合には約3,162 万円の費用が必要になります。

藤井

このE T Cの搭載に関しては、時間帯による割引制度とかありますし、そういった意味で利便性なども考えていくと、やはりこれはどうしても登載した方が良いと思うし、それにかかった費用は意外と早く回収できると思うんですけど、いかがですか。

装備課長

確かに通勤時間帯割引、深夜時間帯割引、休日割引等のきめ細かい割引制度がございます。そういうものを活用していけば、委員がおっしゃったとおり、約3,000万円かかる費用をその割引制度で回収できると考えております。

藤井

今後どういった計画や考えをお持ちなのか、お聞かせください。

装備課長

E T Cを登載している車両が20%という数字では少ないと感じております。警察業務はスピードも大切ですし、効率化の観点も考えていかななくてはならず、その必要性は十分認識しております。今後は全車整備を基本といたしまして、必要性の高い車両から、順次計画的に整備を進めていきたいと考えております。

藤井

是非進めていただきたいと思います。恐らく神奈川県警察で使用されている車で不必要な車はないものというふうに思いますし、今までも県議会の中で議論をしてきましたけども、警察官の仕事が余りにも煩雑が多い。家の前に猫の死骸があるから始まって、へびが庭に入ったとか、何でも困ったらまずは110番ですから。E T Cを搭載して、スピードアップということも考えていくことは必要だと思いますし、料金所を通過したら記録として残りますから、紙のやりとりをなくせば事務処理の軽減の負担になって、こんな簡単な話はないんじゃないかなというふうに思うんです。約3,000万円かかるということは分かりましたけども、私たちも緊急車両への配備は大事なことで、その辺はしっかりと私も訴えていきたいと思っています。是非前向きに、また、積極的にやっていただきたいというふうによりしくお願いします。

それから、ちょっと要望だけさせていただきたいんですが、これから夏の海水浴シーズンに向かいます。海の家は閉店時間をそれぞれの海水浴場で決めていてまちまちですから、いわゆる違法ドラッグとか、青少年犯罪の温床になっているというところもありますので、警察の方でもパトロールをしっかりと強化してもらいたいというお声が県民の方からはありますので、質問ではなく、要望としてお話しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。私の質問は以上です。